

2016 年度押江ゼミオリエンテーション

教育方針

1. 「自由で開かれている風土」を目指します

あなたは何をしても、どこに行っても自由です。参加を強制される行事等はいつさいありません。行事は「それをやるかどうか」というところから、話し合って決めます。全員が参加する必要はありません。役割もありません。

あなたの研究テーマはどんなものでもかまいませんし、どんな研究方法でもかまいません。臨床心理学にこだわる必要すらありません(心理学コースのゼミですから、心理学とは一応関連しておいてほしいですけど、それも"一応"です)。他のゼミはもちろん、他大学の研究会や研修会、学会等に積極的に参加してください。もちろん、有意義なことも、しょもないことも含めて、たくさん遊んでください。

そして、「自分が大切にしていきたいこと」を見つけてください。それはどこかにあるかもしれませんし、どこにもないかもしれません。たくさんもがいて、たくさん悩んでください。いくらでもお話は聴かせていただきます。オフィスアワー("oshie cafe"と呼んでいきます)なども活用してください(毎週(金)13:00-17:00。例外あり)。

あらゆる点で自由ではありますが、1点だけ例外があります。ゼミには必ず出席するようにしてください。欠席する際は必ず連絡してください。

2. 研究を大切にしてください

私は、あなたの考えをふくらませたり、かたちにしたり、言葉にしたりするお手伝いをします。しかし、あなたが何をしたいのか、どうしたいのか、どのように生きていきたいのかを私が決めることはできません。

「自分が大切にしていきたいこと」を人に言葉で伝えられるようになってください。研究は、そのための訓練であり、一種の"ゲーム"です。

具体的に何をするのか

1. 学部ゼミ(毎週() コマ)

学部2・3年生中心のゼミです。卒業研究に向けて、自分の関心を探す時間です。論文を読んだり、ワークを実施したりします。また、学部4年生・M1・2生の発表を受けて、コメントを求めることもあります。

2. 卒論ゼミ(毎週() コマ)

学部4年生中心のゼミです。卒業研究の準備をします。他学年も出席してかまいません。必要に応じて学部ゼミ・院ゼミにて発表をするようにします。また、M1・2生の発表を受けて、コメントを求めることもあります。

3. 院ゼミ(毎週() コマ)

M1・2生中心のゼミです。学会発表や論文投稿，修了研究の準備をします。また，心理臨床に関する文献を読んだり，心理療法の練習をしたりします。他学年も出席してかまいません。必要に応じて学部ゼミまたは卒論ゼミにて発表をするようにします。